

ニュース

まちの変化をカメラレポート

地上7階建て新本店ビルを建設

2015年春の完成目指す 肥後銀行



新本店ビルの完成イメージ図（辛島公園側）

肥後銀行（甲斐隆博頭取）は、成は2015年春を目指す。敷地は5485㎡。建物は地上7階、地下1階建てで延べ床面積は2万3千㎡、従来の約1.8倍の広さとなる。

旧本店の老朽化や業容拡大に伴い手狭になったため、現在地に建て替えるもの。1月末から旧本店の取り壊し作業に入り、完

し、熊本市中心市街地の景観と調和した建物となる。免震構造方式を採用し耐震性を確保する。また、ひさしを設置し直射日光をささげないなどの環境に配慮した造りを計画。また辛島公園側には、里山をイメージした親水施設のある広場を設ける。総事業費は約100億円を見込む。



▲取り壊し作業に入る旧本店



▲起工式には肥後銀行役員をはじめ設計、工事関係者などが出席



▲介護福祉施設として甦る旧フェイス学院高校校舎

旧フェイス高校舎を介護福祉施設に利活用

竹崎記念福祉会



▲起工式には関係者約60人が出席

社会福祉法人竹崎記念福祉会（熊本市、中村幸子理事長）は、同市南区南高江の旧熊本フェイス学院高校の校舎を介護福祉施設として整備改修し、特別養護老人ホームなどを開設する。8月オープンを目指す。

施設名称は「ケアタウンかわしり」で特別養護老人ホーム60床、有料老人ホーム60床、ショートステイ12床となる。敷地面積は約2万㎡。建物は、校舎の改修と一部増築で延べ床面積は6409㎡。閉校した大型の学

校施設を介護福祉施設として利用するのは、全国的にもあまり例がないという。



▶建物の改修などを進める旧校舎（2月22日撮影）。8月オープンを目指す



▶中村理事長による鉄入れ